

団体名		公益財団法人 武蔵野文化事業団						
事業	① 指標名	芸術文化の振興(自主事業チケット販売の充実)			目標値	芸術文化の振興を図るため自主事業チケットを完売する	実績値	主催・共催公演106公演中104公演完売(2公演完売できず)
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成率	98.1%	達成状況	未実施(未達成)達成
	(単位:)	主催・共催公演123公演中122公演完売	主催・共催公演127公演中129公演完売	主催・共催公演134公演中133公演完売				
	取組内容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市民が優れた音楽等を安価で鑑賞出来るよう独自招聘事業の充実を図りつつ引き続き実施する。 ②市民文化会館休館に伴う公演数及び販売席数減少を補うため、他市施設や大学施設での自主公演開催も含め、公演事業企画実施する。 ③顧客層の拡大を図るため、主力であるクラシックの公演に加え、ジャズ、ポップス、民族音楽等。多彩な公演事業を企画する。 ④親子コンサート等今まで来場いただいていた市民への芸術文化の振興を図るための事業企画の充実を図る。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 完売でなかった公演は、他区市のホールを借りて実施した2つの演奏会であり、そのホールの最初の公演であった。なじみのない会場での公演ということで、PRが行き届かなかったことが要因と思われる。どのような状況下でも、広報等に努め今後も完売を目標とする。また、28年度は、アウトリーチ事業や他団体との連携事業にも力を入れ、市民がより身近で気軽に芸術文化に接する機会を持てるような取組に注力した。						
二次評価	市民文化会館休館のなか、アウトリーチ講演を積極的に行ってきたことは評価する。完売に向け、今後も積極的な取り組みを期待する。							
財務	② 指標名	事業団予算の抑制(事業支出の抑制)			目標値	支出額(事業支出)の抑制に努める	実績値	収入額 838,791 内補助金 691,729 支出額 773,749
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成(達成)
	(単位:)	収入額 951,058 内補助金 698,808 支出額 901,058	収入額 1,034,857 内補助金 720,389 支出額 1,038,085	収入額 1,030,328 内補助金 731,513 支出額 980,328				
	取組内容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 市民文化会館が休館中のため、市民文化会館の貸出管理等に要する人員を一時的に3名減らした。施設管理にかかる経費が減ったこと等により、総体として収入、支出ともに減っているが、事務所移転、備品保管等の通常ではない支出もあった。引越し、備品保管の契約に際しては、プロポーザルによる業者選定を行うなど、経費節減に努めた。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 支出の抑制という点では、上記のとおり一時的な人員削減に加え、事務所移転や備品保管等の契約についてプロポーザルによる業者選定を行うなど、一定の支出抑制を達成したと考えている。また、予算全体の抑制という点では、スイングホールなど市民文化会館以外の施設や他市施設を借りて年間100公演の主催事業を実施しチケットをほぼ完売するなど事業収益に努めるとともに、13事業の独自招聘事業を企画し、他のホールへのプロモートなどにより事業の収益性を高め持ち出し支出の抑制を図ることができた。						
二次評価	目標達成を評価する。今後も引き続き効率的な執行に努めることを期待する。							
内部	③ 指標名	人材育成のための人事制度の検討			目標値	法人の設置目標達成のための人事制度の検討	実績値	新規職員の採用及び市派遣職員等の方向性を確認
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成率	50.0%	達成状況	未実施(未達成)達成
	(単位:)	-	-	-				
	取組内容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市派遣職員、管理職OB受け入れのあり方について、市と協議を行う ②他団体の人事制度の研究 ③制度の具体的設計						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 市民文化会館休館のため、28年度は嘱託職員3名減の体制で業務行っていたが、リニューアル後は従前の人員体制に戻し、人員体制整備のため、正規職員と嘱託職員の採用試験を実施した。また、市の派遣職員、管理職OBを充てているポストについて市人事課と協議を行い、事業団での適正な人材育成・配置を行っていく方向性を確認した。人事制度の細部の検討はこれからだが、方向性の確認については一定の成果を得ることができた。						
二次評価	事業団が主体となり、人材育成を行っていくことについて方向性を確認したことを評価する。生涯学習振興事業団との統合に向け、両団体の人事制度の研究、課題等の整理を進めていただきたい。							